


成人向



真姫からの
白濁な誘い



もう強引
なんだから〜

ダメと言われると
もっとしてあげたく
なっちゃうんだよねー
おじさんは…Hだから



やっ…!! だめえ
そこだめ…!!



ふはあふあふあ



ぬっ!!



……
……
も……

そう?じゃあ
やめる?
どうする?
マキ?



も…もうらめっ
やめてえ〜

わたし…おかしく
なっちゃうう〜

や…やめたら
嫌いになっ
ちゃうん
だから!

なんて私が…
こんなおじさんと
えっちな関係に
なっちゃうってるかって?



よし



はい皆さん
お疲れさまー

フフフ…ついに
渡しちゃったー

マキちゃん
帰らないのー？

うん…
ちよつとね…
用事があるから
先に帰っていいよー



ま…待たせた
かしら？

い
て
く
れ
た
！

そんなことないよー
マキちゃんこそライブと
握手会の後で
疲れてるんじゃない？

ああ…この声
やっぱいいいー

だ…大丈夫よ
このくらい…

そうよかった！



？



おじさんこそ
また食事抜いて！
私の為は嬉しいけど
もうすぐ40なんですよ？
自分の身体はちゃんと
ケアしてよねー

あ…ああほんと
そうだね…ごめんよ
マキちゃん…

この人は私の大ファンで
安月給のサラリーマンで

誠実で
真面目な人
初めて会った時も

君!!
今、隠し撮り
しただろっ
出さない!



全く！マキちゃんの
絶対領域を——！！

消去だ消去！！

いい人なんだけど
見た目は普通のおじさん

全く…今の若い奴は

ごめんねマキちゃん
騒がしちゃったね…

あ…うん
あ…ありがと…

そんな人に
なんて私が惹かれ
ちゃったのかって
いうと——

こ…
この声——

じゃあ改めて
握手いいかな？

パパの声
そっくり……

いや—元気もらった！
これでまた仕事
頑張れそうだよ—

ありがと—

うん…

絶対音感だから
分かる…音域も
声質も全部…

次のライブも
楽しみにしてるよ—

うん…

—それ以来…

みんな—
今日も来て
くれて—
ありがと—

私はいつも仕事で
忙しいパパの面影を彼に
重ねるようになったの…

いた—

そして…今日ついに…

二人つきりで
会えるように
仕組んだの…

けどまさか
マキちゃんから秘密の
呼び出しもらうとは
思わなかったよ—

じゃあ信じられない
ついでに、これから
私の家に来ない？

えっちよっ
そ…そんなっ!!
ご両親が
いるんじゃないの!?

大丈夫よ…パパも
ママも今日は
帰り遅いから…
私が招待したいの
ね、来てくれるでしょ?

だけど—

あ—もう!

まだ
信じられない…

フス
フス

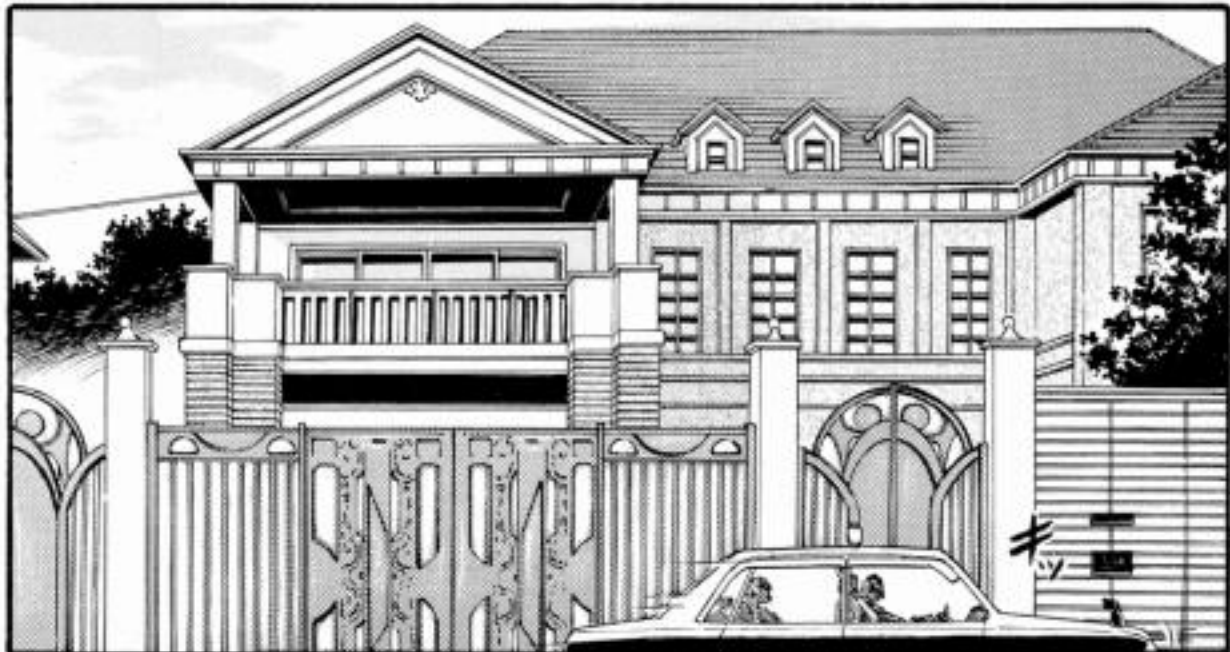
ドキッ

いいから
来なさい

かし—

あっ

ああ—!?



ドキッ

う—わ—

さ、入って

あ、うん…

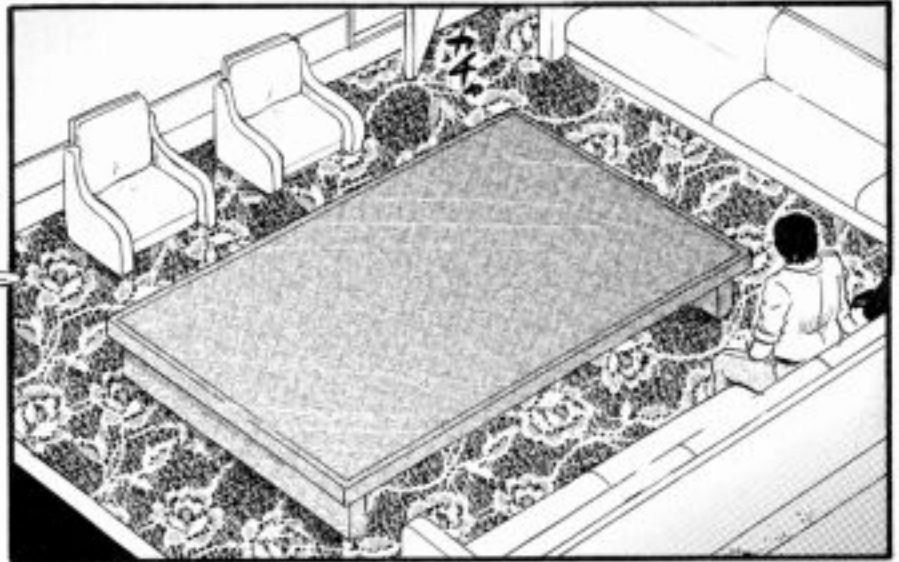
お…おじゃま
しま—す…

そんな
ヒクツに
ならなく
てもいいわよ





お…お待せ…



な…なによっ

ほ—っ



はい

カキ

おいしっ!!
おいしいよ!
マキちゃんの入れて
くれた紅茶—!!

あ…い…いただきます!

ほ…ほら…お茶冷めちゃう!
バ…バカ…

あ…いや…普段着の
マキちゃんも
いいなあと思っ

紅茶なんて
誰が入れても
同じよ…

そんなことないよ—

う…うるさい!!
黙って飲む!









ああっ
も...も...そういうのは
ちゃんとしてまっておいてよ!
ほんとテキトーすぎ!!

う...めん

全...
!?

うわ...
うわ...
うわ...

あ...これ! Hな本!
あ、こら!!

こら、返しなさい!!

へえー
すこーい

返しなさい!!

そ...そうだよ
Hだよ!
お...男やめなんて
そんなもんだって! ほら...

なによー
おじさんの
えっちら...

あっ

キャアアア
わあああ



あ……あ……
ごめんマキちゃん……

……お茶でも
入れるよ……

あたたたた……

ねえ……
おじさん……

?



私とあの本みたいに
えっちなこと
したい？

ふん……



うあつ

わ……私……

おじさんとなら……いいよ……



……マキ……ちゃん……

今日……今だけは……
私はおじさんの……
おじさんだけのもの……



ちよっ……マキちゃん！
何を言いだして……ダメだよ……
マキちゃんは皆のアイドル……



私の……私の“初めて”
もらって……
おじさん!!
私……今日は
そのつもりで
……



!?



いやっ!!

かば









大人になるって
こんな...

あ...あそこ...
ジンジンするう...

じゃあ
いくよ

あ



これで大人に
なれたよマキ

あ...ふ...大人...



ふま...あ



身体を僕に
預けてもらん



は...はじめて...

すっぴん...



どうだいマキ...
“初めて”の感想は?

あ...は...



身体...ぜんぶが...
ふるふる...!!



!?あ
そうか!

ドン
ドン

?



えっあつ

いっ

安アパートだからね…
マキのソプラノ声
隣につつ抜けなんだよ



あ

が

そ…そんな
いやあ!!

が
が



はあ
はあ
はあ
はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



あは
あは

あは

あは

あは

あは

あは

ガマン…できない…

だめえ

声が出ちゃう…

あけど

あは
あは

あは

あは



だって…
おじさんののが
欲しかったんが
だもん…

それに…
すごく気持ちよかったよ
ありがとうおじさん…

やっぱりよかった
初めてはおじさんで

私…幸せ♡!

お…おいおい

そうして…
それから…
私たちは…

愛を確かめるように
何度も身体を
重ねるようになった…

次のフィブの終りにも…

もう~~~~やだ
こんなカッコで、恥かしいよ

だって…マキが来て
すぐに欲しがるから…

けどいいんだろ？
こんなカッコでされるのも
好きなんだろーマキ！

会議室

好きい〜後ろから

無理やり犯されるの
大好きい〜!!

あひはあひ
あひはあひ
あひはあひ

そうして私の
部屋でも…



え? いいの?

うん



ドキ

バ…バカ!



してくれと
思っただけで
半勃ちしたよ!

ありがとう

「して、して」
って、うるさい
んだもん
たまにはね…



うれしいな〜

とは言ったものの
前見た時より
大きくなってない?

マキが
僕のチンコ
を

こんなの…
口に入るかしら?



うれしい
なあーマキが
フェラして
くれるなんて
も〜



どうだいマキ?

んんん
あはは

ぬほ

ぬほ

ぬほ

ふんふん
あは



僕のチンコがマキの濡れ濡れマンコに入ってるの見えるかい?

ぬほあはは

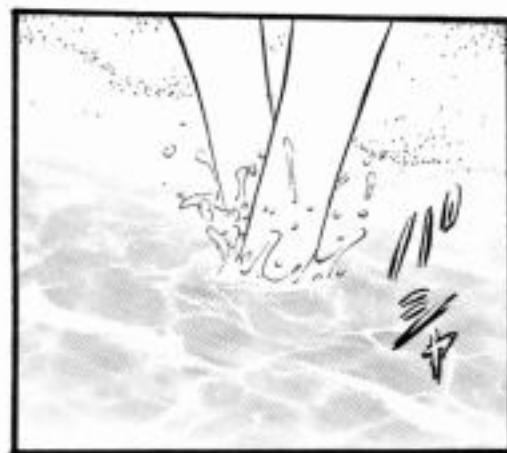


いくよ...マキ!
今日もたつぶりマキのナカに出すよ!!

ぬほ

あはは

あはは
あはは
あはは





え？

なんでもない！

いやあ〜〜ブライベート
ビーチまで持ってるんだー

おっ！
撮影で着てた
水着を着てく
れたんだね



—で…
ザザ

結局
こうなるのよね…

何言ってるの？
こうして欲しくて…ここは

もう大洪水だよ

パ…パカ！

じゃあ〜よ



キレイ〜〜〜



ドド〜〜〜
ニ



も〜〜〜
その声で
言わないで〜

花火もキレイ
だけど〜



パ〜パカ
ジロジロ
見ないの

ああ
やっぱり
下着はつけないんだね

フフ〜やっぱり
マキは可愛いな〜

かほ〜



—ねえ
マキ…

?



だぶだぶ
あま…

そうして…夏も
もうすぐ終り…



結婚しよっか
おじさん♡

私たちのラブライブは
まだ…
始まったばかりです♡



僕たち…
このままで
いいのかな？

二人で海外に
でも行って…

あ…うん



そうね…



子供も
出来るだろうし…

ハッ

FOR ADULT ONLY



STUDIO Wallaby

深紫'72

真姫からの白濁な誘い

未成年の閲覧はご遠慮ください。